

川崎大空襲から８０年

川崎市中原区にある川崎市平和館で、
２０２５年３月から５月にかけて戦後８０年を契機とした
「川崎大空襲記録展」が行われました。
(映像：川崎市平和館の外観と館内の様子)

川崎市平和館は、「平和」や「戦争」にまつわる様々な資料やパネルを展示し、
川崎市の戦争の歴史や戦争の悲惨さを伝えている重要な施設です。
(映像：常設展示の様子)

１９４５年４月１５日に多くの死傷者を出した「川崎大空襲」に合わせて開催された今回の記録展。
(映像：記録展会場と展示物の様子)

会場では、川崎市市制１００周年記念事業でＡＩの画像認識技術と空襲体験者の記録や体験談をもとに、
カラー化された戦災写真が展示されました。
(映像：カラー化された写真パネルの様子)

また、当時の実物資料や児童が疎開先で送っていた生活の様子を描いた絵なども並びました。
(映像：展示されている数々の実物資料などの様子)

平和館での記録展のほか、４月１５日には川崎市役所本庁舎でライトアップも実施されました。
(映像：川崎市役所本庁舎がライトアップされている様子)